

次期計画の将来像（修正案）



◆ 野村委員コメント（第2回部会）

- ・府民に対してはライフスタイルの転換という表現があるが、企業に対してもビジネスモデルの転換のような表現があってもいいのではないか。例えば「すべての府民が持続可能なライフスタイルを実践するとともに、全ての企業が環境課題に適応したビジネスモデルへの転換が進んでいる。」といった表現はいかがか。



◆ 次期計画の将来像（修正案）

大阪から世界へ、現在から未来へ 暮らしやすい循環型社会

- ・全ての府民が持続可能なライフスタイルを実践するとともに、**企業活動においても**動脈産業と静脈産業の連携**など**により資源循環**型**のビジネス**モデルへの**転換が**進む発展する**ことで、資源を効率的・循環的に有効利用する循環経済（サーキュラーエコノミー）へ移行し、**資源消費を最小化し**廃棄物の発生抑制や環境負荷の低減等が進んでいる。
- ・また、プラスチックごみの排出抑制や環境への流出削減の進展により「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が達成されており、さらに、再資源化技術の高度化も進み、廃棄物分野における温室効果ガス排出量の実質ゼロが実現されている。
- ・これらにより、気候変動への対応、生物多様性の保全が進み、持続可能な循環型社会が形成されている。